

 ユシロ化学工業株式会社

第90期
報告書

2022年4月1日 — 2023年3月31日

The Way Of Mutual Progress

証券コード:5013

時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

The Way Of Mutual Progress

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は70有余年の時空を越えて全社員の中に生き続いており、今後も永遠に受け継いでまいります。

企業理念 共々の道

社 是

1. 独自の風格ある製品
2. 間口よりも奥行きのある研究
3. 進歩は常に需要と共に

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

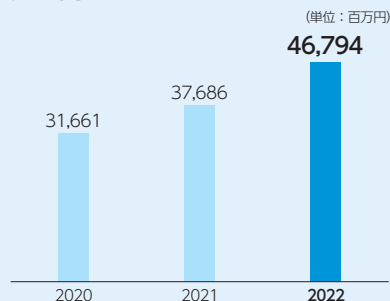
さて、当社第90期の事業の概況についてご報告申し上げます。



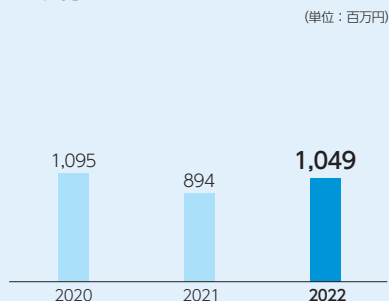
代表取締役社長
有坂 昌規

連結財務ハイライト

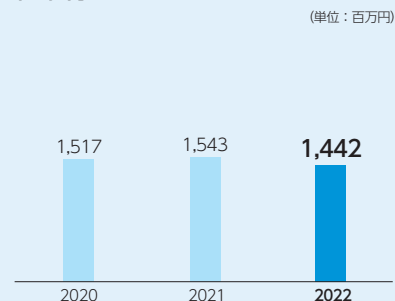
売上高



営業利益



経常利益



事業の概況

当連結会計年度における世界経済は、ウクライナ情勢に起因する資源・エネルギー価格の高騰、欧米におけるインフレ抑制に向けた金融引き締め、原材料の供給不安の長期化など、先行き不透明な状況が続きました。

また日本経済においても、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつあるものの、日米金利差の拡大による急激な為替変動や物価高騰など、引き続き景気の先行きを注視していく必要があります。

このような状況下、当社においては、主要顧客である自動車業界における生産台数回復の兆しが見えてきましたが、国内を中心に半導体等の部品供給不足による生産調整の影響が長引いており、本格的な回復には至っていません。また、原材料価格が依然として高い水準にあるため、価格転嫁をはじめ、原価低減や経費節減による利益改善にグループを挙げて取り組み一定の成果を上げましたが、依然として厳しい事業環境が継続しています。

以上の結果、売上高は前期比24.2%増の46,794百万円、営業利益は前期比17.4%増の1,049百万円、経常利益は前期の助成金収入がなくなったことなどにより前期比6.5%減の1,442百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期の繰延税金資産の取崩しがなくなったことなどにより前期比229.2%増の898百万円となりました。

利益配分に関する基本方針 及び当期の配当

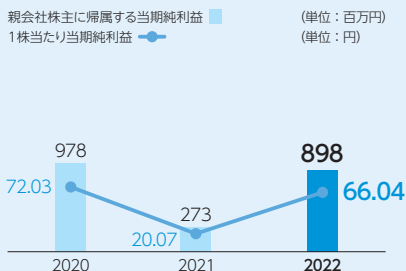
企業価値向上と持続的な成長に繋がる投資を優先的に実行することが結果としてステークホルダー共通の利益に資する考えに加え、株主に対する利益還元についても経営の重要施策とし、安定的・持続的に配当を行うことを方針とし配当性向を30%以上とします。

期末配当金につきましては、2023年3月期業績を踏まえ、10円とすることを決議いたしました。この結果、1株当たりの年間配当金は、中間配当金と合わせて20円となる予定であります。

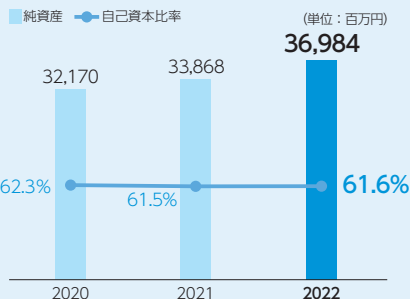
▶▶ 2024年3月期連結業績予想

	来期予想	当期実績
売上高	51,500百万円	46,794百万円
営業利益	2,020百万円	1,049百万円
経常利益	2,380百万円	1,442百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,650百万円	898百万円
1株当たり当期純利益	121.23円	66.04円
年間配当金	40円	20円

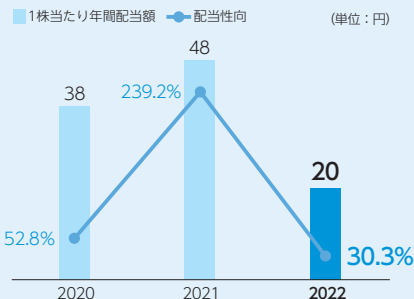
親会社株主に帰属する当期純利益／ 1株当たり当期純利益



純資産／自己資本比率



1株当たり年間配当額／配当性向



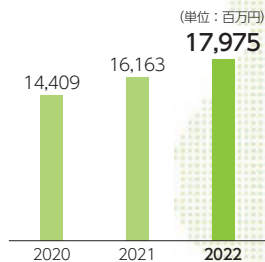
セグメント ハイライト

売上高につきましては、各セグメントにおいて前期と比較して増収となりました。営業利益改善活動を行い、その結果、日本及び南北アメリカセグメントにおいては前期と比較し



原材料価格は高い水準で推移しましたが、販売価格の改定を進めたことにより増収となり、原価低減や経費節減の効果もあって営業黒字に転換しました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

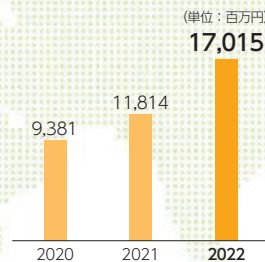
- ユシロ運送株式会社
- ユシロ・ゼネラルサービス株式会社

※当社は2023年3月31日付で日本シー・ピー・ケミカル株式会社を吸収合併しております。

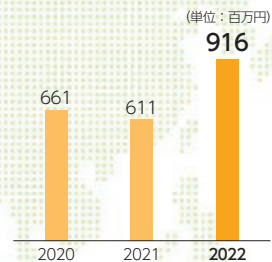


一部拠点において顧客の稼働率低下の影響を受けましたが、クオリケムInc.及びブラジル・ユシロにおける販売が好調であり、また、販売価格の改定も進んだことから、大幅な増収・増益となりました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

- ユシロマニュファクチャリングアメリカInc. [米国]
- クオリケム Inc. [米国]
- ユシロドブラジルインダストリアケミカLtda. [ブラジル]
- ユシロメキシコS.A. de C.V. [メキシコ]

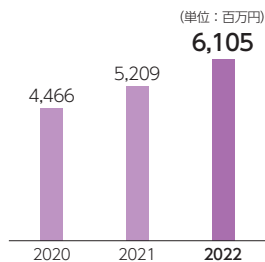
持分法適用関連会社 …………… 汎宇化学工業株式会社(韓国) 株式会社汎宇(韓国) 三宜油化股份有限公司(台湾)

益につきましては、原材料価格高騰の影響を受けましたが、各セグメントにおいて販売価格改定と採算で増益となりました。

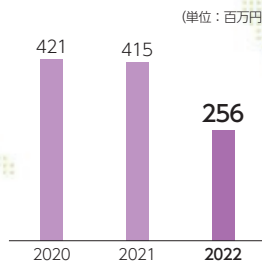


政府のコロナ政策の影響を受けながらも、販売は前年度から回復し増収となりましたが、原材料価格の高騰の影響が大きく減益となりました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

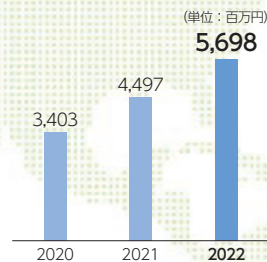
- 上海尤希路化学工業有限公司[中国]
- 如東尤希路化学工業有限公司[中国]

※如東尤希路化学工業有限公司は2022年8月11日付で啓東尤希路化学工業有限公司から名称変更しております。

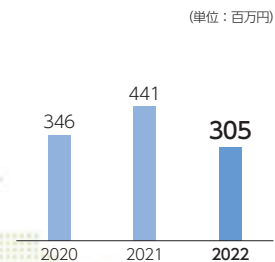


各拠点において顧客の稼働率は順調に回復し増収となりましたが、原材料価格上昇の影響を価格改定によって吸収することができず減益となりました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

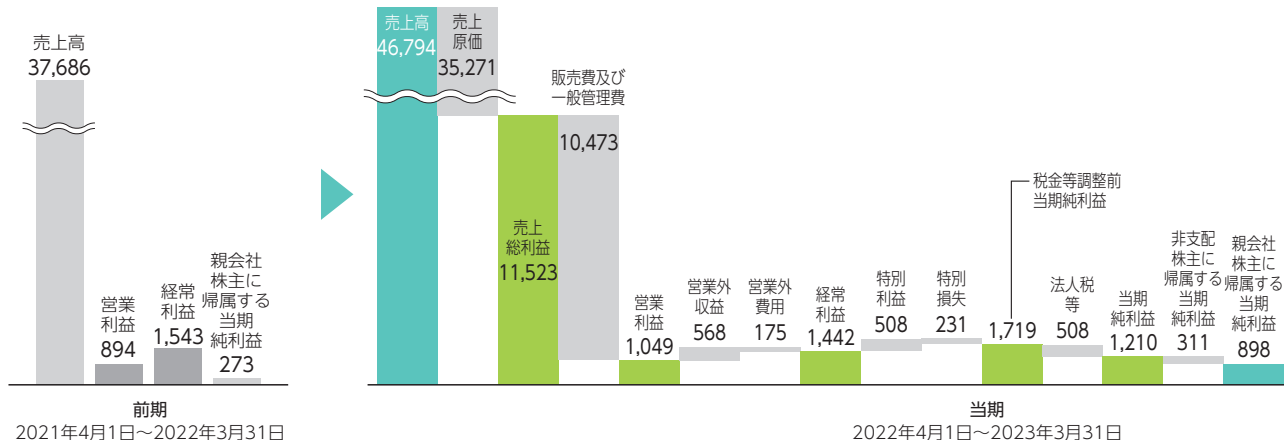
- ユシロマレーシアSdn.Bhd.[マレーシア]
- ユシロ(タイランド)Co.,Ltd.[タイ]
- サイラムシー・ビー・ケミカル Co.,Ltd.[タイ]
- ユシロインドiakカンパニーPvt.Ltd.[インド]
- PT. ユシロインドネシア[インドネシア]

○ 連結財務諸表

※金額は、百万円未満を切捨表示しております。

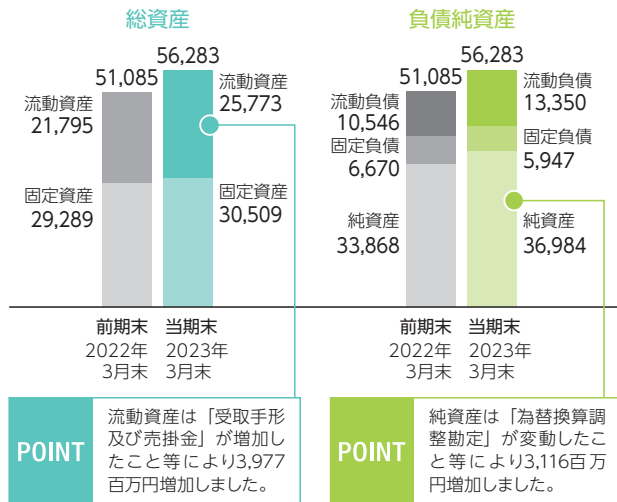
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



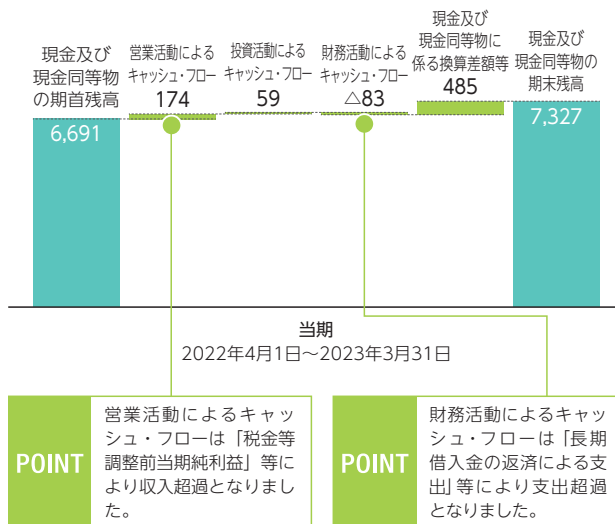
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



○ 会社概要・株式の状況 (2023年3月31日現在)

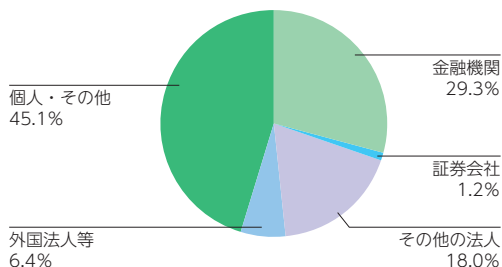
■ 会社概要

社名	ユシロ化学工業株式会社 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.
本社所在地	〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL (03) 3750-6761 FAX (03) 3750-1146
ホームページ	https://www.yushiro.co.jp/
設立	1944年(昭和19年)7月24日
資本金	4,249百万円
従業員数	387名(連結987名)
当社グループの 主な製品等	金属加工油剤関連 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、アルミ離型剤、 金属表面処理剤、水処理剤、その他関連製品 ビルメンテナンス関連 樹脂ワックス、洗剤、その他関連製品及び機器

■ 株式の状況

発行可能株式総数	29,180,000株
発行済株式数	13,900,065株
株主数	4,957名

所有者別株式分布状況



■ 役員 (2023年6月27日現在)

代表取締役社長	有坂 昌規
常務取締役	高橋 誠司
取締役	小林 一重
取締役	高倉 一利
取締役	石川 拓哉
取締役*	中野 雅文
取締役(監査等委員)*	飯塚 佳都子
取締役(監査等委員)*	杉山 敦子(現姓 松本)
取締役(監査等委員)	山崎 敏男

*は社外取締役です。

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,263	9.28
日本生命保険相互会社	1,057	7.76
ユシロ化学工業取引先持株会	956	7.02
スズキ株式会社	549	4.03
株式会社三井住友銀行	547	4.02
ユシロ化学工業従業員持株会	488	3.59
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	450	3.30
株式会社三菱UFJ銀行	316	2.32
三井住友海上火災保険株式会社	286	2.10
ビービーエイチ ポストン フォー ノムラ ジャパン スモーカー キャピタライゼーション ファンド 620065	261	1.91

*当社は、自己株式290千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は、自己株式を除いて算出しております。

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ(https://www.yushiro.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

○住所変更、単元未満株式の買取り等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社が住所変更等のお申出先となります。

本件に関するお問い合わせ先は、左記株主名簿管理人となります。

○未払い配当金の支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、当社の事業をよりご理解いただけるよう、事業内容に加え、技術情報、IRなど、様々な情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。

ユシロ化学工業

検索



<https://www.yushiro.co.jp/>



UD FONT

この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。